

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95

JR東海品川ビル5階5F (03)6718-1251

名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-2127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

「安定支給ベース」満額回答に向け

「年末手当」交渉スタート！

組合員一丸となって「安定支給ベース」を求めていこう！

【要求内容】

- ・ 要求月数
基準内賃金及び
補償措置額の**2.9**箇月
- ・ 支給日 **12月9日**

賃金実態等調査の集約が完了しました！

ご協力ありがとうございました。

各級機関の皆さまのご協力により、大変多くの調査表を集約することができました。多くの分会において100%集約が実現したのは、調査期間が僅少の中、皆さまにご尽力いただいた賜物であり、厚く御礼申し上げます。

今後、調査結果を詳細に分析し、各種交渉に役立てます。尚、分析が完了し次第「ぎょうむそくほう」や「ぎょうむれば」とにて、分析結果をお知らせいたします。

中央本部は、申第4号「2022年度年末手当に関する要求」として、「基準内賃金及び補償措置額の2.9箇月分・12月9日支給」を会社に対し要求した。10月24日に第1回団体交渉を開催し、申し入れの趣旨について主張を行った。回答に向け、引き続き会社と詳細な議論を展開していく。

今年度の上半期を振り返ると、第1四半期は、年度初の運輸収入の想定を大きく上回る70%（平成30年度比）のご利用を得た。第2四半期は感染拡大の第7波が生じたが、各種制限が発出されない中で、ご利用状況が減少することなく輸送状況が推移し、夏季輸送においては新幹線・在来線あ

わけて69%（平成30年度比）のご利用を得るなど、着実に回復の道を歩んでいる。この間、我々は、日本の大動脈および地方交通という極めて重要なライフラインの維持・発展と、名古屋地区の地域医療等を担うという使命を果たすため、感染拡大の中においても一人ひとりが懸命な努力を積み重ね、各職場で昼夜を問わず、鉄道運行や医療、サービス事業の最前線で社会を支え、グループ一体となった関連事業の活性化や中央新幹線計画の推進等に取組み、一丸となって使命を全うしてきた。

上半期の堅調な輸送の土台には、安全を守り抜くという組合員の高い使命感に基づき、懸命な努力があったことは言うまでもなく、満額回答に十分値するものである。

期末手当は、組合員の生活にとつての生活給として極めて重要な位置付けにある。ようやく黒字化が達成され、さらなる飛躍を遂げようとしている今、「将来宣言」を体現する組合員の奮闘に報いるべく、安定支給ベースの考えに基づき、組合員の一層の意欲向上に資する誠意ある回答を強く求め、中央本部は最後まで一丸となり全力で取組んでいく。

楳布・楳FAXに皆さん